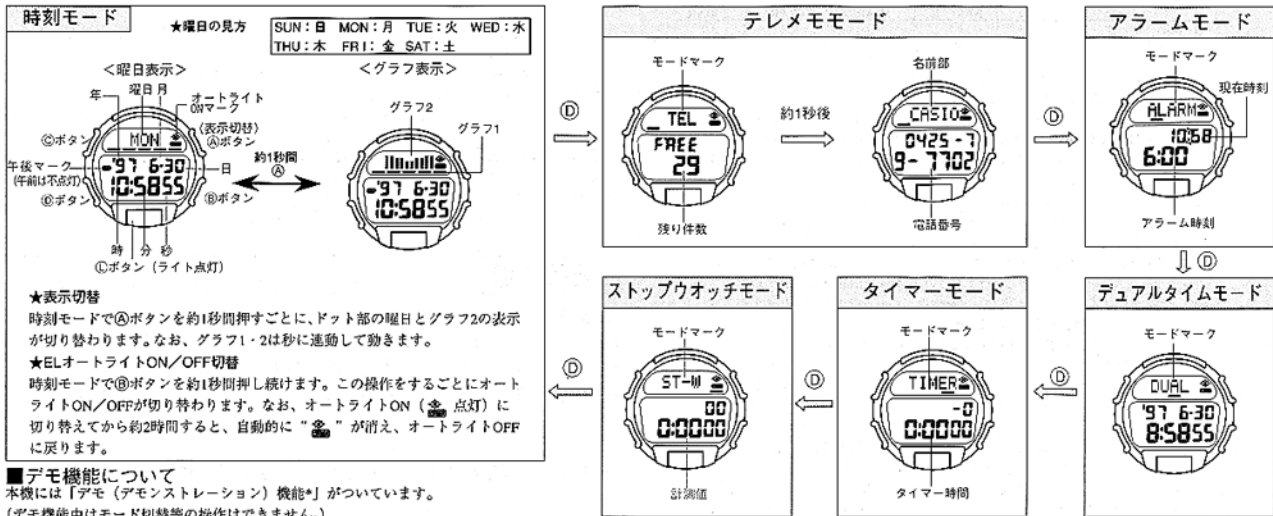


印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

操作のしくみと表示の見方

*機種によりデザイン上デジタル表示部に反転液晶を使用しているものもあります。

①ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。



時刻モード
 ★曜日の見方
 SUN:日 MON:月 TUE:火 WED:水
 THU:木 FRI:金 SAT:土

＜曜日表示＞
 年 月 日
 MON
 午後マーカ (午前/午後)
 時 分 秒
 約1秒間

＜グラフ表示＞
 グラフ2
 グラフ1

★表示切替
 時刻モードで②ボタンを約1秒間押し続けると、ドット部の曜日とグラフ2の表示が切り替わります。なお、グラフ1・2は秒に連動して動きます。

★ELオートライトON/OFF切替
 時刻モードで③ボタンを約1秒間押し続けます。この操作をすることでオートライトON/OFFが切り替わります。なお、オートライトON (点灯) に切り替えてから約2時間すると、自動的に「点」が消え、オートライトOFFに戻ります。

デモ機能について
 本機には「デモ (デモンストレーション) 機能」が搭載されています。
 (デモ機能中はモード切替等の操作はできません。)

★「デモ機能」とは、時計の機能の一部を自動的に表示するものです。

●デモ機能の解除...①ボタンを約3秒間 (確認音が鳴るまで) 押し続けます。

●デモ機能の設定...解除するときと同様に①ボタンを約3秒間押し続けます。

※各機能を使用した後に①ボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。

※テレメモモード、アラームモードでは、それぞれの表示のまま2~3分すると自動的に時刻モードに戻ります。

時刻・カレンダーの合わせ方

●秒の合わせ方
 (1)時刻モードのとき、
 ③ボタンを約1秒間押し続けます。

→「秒」が点滅します。

→「秒」が00からスタートします。

秒が00~29のときは切り捨てられ、30~59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス電話117番」が便利です)

(2) ③ボタンを押します
 一点減が止まり、セット完了です。

●時刻・カレンダーの合わせ方
 (1)時刻モードのとき、
 ③ボタンを約1秒間押し続けます。

→「秒」が点滅します。

(2) ③ボタンを押します
 →「秒→分→時→年→月→日」の順で点滅が動きますので設定したい箇所を③ボタンで選びます。

(3) ③または④ボタンを押します
 →③ボタンを押すと点滅箇所の数字が進み、④ボタンを押すと戻ります。
 ※③・④ボタンとも押し続けると早送りします。

③ボタンで設定したい箇所を選び、③または④ボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。
 ※表示が点滅しているときに③ボタンを押すことで12時間制表示と24時間制表示とが切り替わります。

★「時」のセットのとき午前/午後(PM)または24時間制(24)にご注意ください。

★「年」は西暦で1995~2039年の範囲でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。なおカレンダーは大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(4) セットが終わりしたら、③ボタンを押します
 一点減が止まり、セット完了です。
 ※点滅表示のまま2~3分すると自動的に点滅が止まります。

テレメモの使い方

●テレメモモードにすると
 テレメモモードに切り替えると、テレメモ残り件数を表示後、前回一番最後に見たテレメモを表示します。

●テレメモデータの呼び出し
 テレメモモードのとき、
 ③または④ボタンを押します

→③ボタンを押すごとに名前順に進み、④ボタンを押すごとに逆方向に進みます。

※③・④ボタンとも押し続けると早送りします。
 ※名前を6文字以上入力したときは、文字が右から左に流れる「スクロール表示」となります。

●データを入力する
 (1) 空ページ表示にする
 ③・④ボタンを同時に押します

→空ページ表示になります。
 ※データが30件分入力されているときは「FULL」と表示されます。このときは、不要なデータを消去しておいてください。
 (●データを消去する」参照)

(2) ③ボタンを約1秒間押し続けます
 一名前部1桁目が点滅します。

(3) ③または④ボタンを押します
 →③ボタンを押すと点滅箇所の文字・数字が進み、④ボタンを押すと戻ります。
 ※③・④ボタンとも押し続けると早送りします。

(4) ③ボタンを押します
 →「名前部1桁目~8桁目→電話番号1桁目~12桁目→名前部1桁目」の順で点滅が右に動きますので設定したい箇所を③ボタンで選びます。

※③ボタンを押すと点滅が左に移動します。
 ※③・④ボタンとも押し続けると早く進みます。

③または④ボタンで文字・数字を選び、③ボタンで桁を選ぶ操作を繰り返して、テレメモデータを入力します。

★入力できる文字は、名前部のときは(スペース)、アルファベット(A~Z)、数字(0~9)、-、/、.、:、(、) で、電話番号部のは、数字(0~9)、(スペース)です。

(5) 電話番号入力後、③ボタンを押します
 →新規入力表示(名前部1桁目点滅)になりますので、続けて他のデータを入力できます。

(6) 全てのセットが終わりましたら、もう一度③ボタンを押します
 →自動ソートが行なわれ、テレメモモードに戻ります。

●データを修正する
 (1) ③または④ボタンを押して修正したいデータを選びます。

(2) ③ボタンを約1秒間押し続けます。

(3) ③ボタンで修正したい箇所に入力された数字を移動させ、③・④ボタンで正しい文字・数字を表示させます。

(4) 修正が終わりましたら、③ボタンを押します。
 →自動ソートが行なわれ、テレメモモードに戻ります。
 ※点滅表示のまま、2~3分すると、自動的に点滅が止まります。




●データを消去する
 (1) ③または④ボタンを押して消したいデータを選びます。



(2) ③ボタンを約1秒間押し続けます。

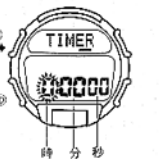


(3) ③・④ボタンを同時に押します
 →「CLEAR」表示後、データが消去されます。
 ※データ消去後は、引き続きデータ入力ができます。



(4) 消去が終わりましたら、③ボタンを押します。
 →テレメモモードに戻ります。
 ※点滅表示のまま、2~3分すると、自動的に点滅が止まります。
 ※テレメモモードで何もボタン操作をしないと、2~3分後自動的に時刻モードに戻ります。

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

<h3>アラームの使い方</h3> <p>①ボタンを押してアラームモードにします。</p> <p>アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音が鳴ります。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。</p> <p>※時刻モードでグラフ表示にしているときは、アラームの報音に合わせてグラフが動きます。</p>	<p>●アラーム時刻のセット</p> <p>(1)アラームモードのとき、</p> <p>①ボタンを約1秒間押しします</p> <p>→「時」が点滅します。</p> <p>※アラームONとなり、アラームマーク「ALM」が点灯します。</p>  <p>現在時刻</p> <p>アラームマーク</p> <p>時 分</p> <p>(2)①ボタンを押します</p> <p>→「時→分→時…」の順で点滅が動きますので設定したい箇所を①ボタンで選びます。</p>	<p>(3)②または③ボタンを押します</p> <p>→②ボタンを押すと点滅箇所の数字が進み、③ボタンを押すと戻ります。</p> <p>※②・③ボタンとも押し続けると早送りします。</p>  <p>時</p> <p>(4)④ボタンで設定したい箇所を選び、⑤または⑥ボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。</p> <p>★「時」のセットのとき午前/午後 (PM) にご注意ください。</p> <p>★基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。</p> <p>(4)セットが завершиましたら、⑦ボタンを押します</p> <p>→点滅が止まり、セット完了です。</p> <p>※アラームモードのままでも何もボタン操作をしないと、2〜3分後、自動的に時刻モードに戻ります。</p>	<p>●アラーム・時報のON/OFF設定</p> <p>アラームモードのとき、⑧ボタンを押すごとにアラームマーク「ALM」と時報マーク「SIG」が点灯/消灯を繰り返します。</p> <p>※それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。</p> <p>※アラーム時刻のセットを行なうと、自動的にアラームONに設定されます。</p>  <p>時報マーク</p> <p>アラームマーク</p>
---	--	---	---

<h3>デュアルタイムの使い方</h3> <p>①ボタンを押してデュアルタイムモードにします。</p> <p>デュアルタイムとは、現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。</p>	<p>●デュアルタイムのセット</p> <p>(1)デュアルタイムモードのとき、</p> <p>①ボタンを約1秒間押しします</p> <p>→「時」が点滅します。</p>  <p>年 月 日</p> <p>時 分</p>	<p>(2)②ボタンを押します</p> <p>→「時→分→年→月→日→時…」の順で点滅が動きますので設定したい箇所を②ボタンで選びます。</p>	<p>(3)③または④ボタンを押します</p> <p>→③ボタンを押すと点滅箇所の数字が進み、④ボタンを押すと戻ります。</p> <p>※③・④ボタンとも押し続けると早送りします。</p>  <p>時 分</p>	<p>⑤ボタンで設定したい箇所を選び、⑥または⑦ボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、デュアルタイム時刻を合わせます。</p> <p>★「時」のセットのとき午前/午後 (PM) にご注意ください。</p> <p>★基本時刻を24時間制にしているときは、デュアルタイム時刻も自動的に24時間制表示となります。</p> <p>★デュアルタイム時刻の「秒」は、基本時刻の「秒」に連動して表示されます。</p> <p>(4)セットが завершиましたら、⑧ボタンを押します</p> <p>→点滅が止まり、セット完了です。</p> <p>※点滅表示のまま2〜3分すると自動的に点滅が止まります。</p>
--	--	--	--	---

<h3>タイマーの使い方</h3> <p>①ボタンを押してタイマーモードにします。</p> <p>タイマーは1秒単位で最大24時間までセットでき、1/10秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過すると10秒間の電子音がタイムアップを知らせます。</p> <p>※時刻モードでグラフ表示にしているときは、タイムアップの報音に合わせてグラフが動きます。</p>	<p>●タイマー時間の設定</p> <p>(1)タイマーモードのとき、</p> <p>①ボタンを約1秒間押しします</p> <p>→「時」が点滅します。</p>  <p>時 分 秒</p> <p>(2)②ボタンを押します</p> <p>→「時→分→秒→時…」の順で点滅が動きますので設定したい箇所を②ボタンで選びます。</p>	<p>(3)③または④ボタンを押します</p> <p>→③ボタンを押すと点滅箇所の数字が進み、④ボタンを押すと戻ります。</p> <p>※③・④ボタンとも押し続けると早送りします。</p>  <p>時 分 秒</p> <p>(4)⑤ボタンで設定したい箇所を選び、⑥または⑦ボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、タイマー時間を設定します。</p> <p>★タイマー時間を24時間に設定するときは、表示を「0:00 00」にします。</p> <p>(4)セットが завершиましたら、⑧ボタンを押します</p> <p>→点滅が止まり、セット完了です。</p> <p>※点滅表示のまま2〜3分すると自動的に点滅が止まります。</p>	<p>●タイマーの使い方 (減算計測のしかた)</p> <p>タイマーモードのとき、</p> <p>⑧ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。</p>  <p>時 分 秒</p> <p>→減算計測は1/10秒単位で行ないます。</p> <p>★⑧ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。秒</p> <p>★ロスタイムがあるときは…</p> <p>減算計測中、⑧ボタンでストップ後、もう一度⑧ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。</p> <p>⑧ → ⑧ … ロスタイム … ⑧ → ⑧</p> <p>タイマースタート ストップ 再スタート タイムアップ</p>
---	--	---	---

<h3>ストップウォッチの使い方</h3> <p>①ボタンを押してストップウォッチモードにします。</p> <p>ストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測できます。計測時間がこの計測範囲を超えると、以後自動的に0に戻って計測を続けます。</p>	<p>●計測のしかた</p> <p>ストップウォッチモードのとき、</p> <p>②ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします</p>  <p>時 分 秒</p> <p>③ボタンを押す(リセット)</p> <p>④ボタンを押す(スタート)</p>	<p>●通常計測</p> <p>② → スタート → ③ → ストップ → ④ → リセット</p> <p>●スプリットタイム計測 (途中経過時間計測)</p> <p>② → スタート → ③ → スプリット → ④ → スプリット解除 → ⑤ → ストップ → ⑥ → リセット</p> <p>＜スプリット表示中＞</p>  <p>④ → スプリット解除</p> <p>●1・2着同時計測</p> <p>② → スタート → ③ → 1着ゴール → ④ → 2着ゴール → ⑤ → 2着タイム表示 → ⑥ → リセット</p> <p>(1着タイム表示)</p>
--	---	---

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

表示照明用ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けるだけで文字板が発光するオートライト機能もあります。

●ボタンを押して発光させる～手動発光～

①ボタンを押します

→どのモード（表示）のときでも、文字板にあるELパネルが約2秒間発光します。



※ELパネル発光中に①ボタンを押すと、その時点から引き続き約2秒間発光します。ただし、①ボタンを20秒間押し続けるとその時点で発光が消えます。

※オートライトOFF（“” 不点灯）のときも①ボタンを押すと発光します。

●時計を傾けて発光させる～自動発光（オートライト）～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で時刻やストップウォッチの計測値などを見るときに大変便利です。

準備 時刻モードのときに②ボタンを約1秒間押し、を点灯させて「オートライトON」にします。
※もう一度②ボタンを約1秒間押しすとが消え、「オートライトOFF」になります。



文字板を発光させる



※オートライト機能を使用するときは、時計が「手首の外側」にくるようにつけてください。
※このとき、文字板の左右（3時～9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



<オートライトご使用時の注意>

●オートライトが作動するのは、を点灯させてから約2時間です。それ以降は電池消費防止のため、自動的にが消え、オートライトOFFになります。
※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度②ボタンを約1秒間押し、を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

●時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。

●文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約2秒間のみとなります。

●時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上をあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときはOFFにしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにご使用ください。

●静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると、発光しやすくなります。

<EL発光についての注意事項>

●直射日光下では、発光が見えにくくなります。

●発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。

●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。